

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果

1. 調査の概要

【調査の目的】義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【実施日】 令和6年4月18日（木）

【対象学年】 中学3年生

【調査内容】 ①教科に関する調査（国語・数学）
②質問調査

○今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

2. 学力調査（教科に関する調査）結果の概要

[国 語]

〈成果と課題〉

「話すこと・聞くこと」…大阪府の平均から下回っているが、大問1【一】「思考・判断・表現：選択式」の「必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうか」を見取る問題に関しては、大阪府を上回っている。

「書くこと」…大阪府の平均から下回っているが、大問3【四】「思考判断表現・記述式」の「表現の効果を考えて描写する」「自分の考えが伝わる文章になるように工夫する」は、「描写」の読み取りや、他者に向けた説明文の作成に力を入れた。結果的に大阪府を2ポイント上回った。

「読むこと」…大阪府の平均より下回っており、話す聞く・書く・読むの中で「読むこと」が一番の課題であることが分かる。中でも差が開いたのは、大問2【四】「目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるか」を見取る問題である。

〈指導の重点〉

□「書くこと」の課題は、「目的や意図に応じて情報を整理」し、「伝えたいことを明確にする」力の育成である。「読むこと」では、特に要約力が不足しているため、読解力向上の取組みと合わせ、「情報の選択」が必要となる演習課題に繰り返し取り組んでいく。

□「読むこと」では、「キーワードを別の言葉に言い換える」練習や短い文章を読み「要点を一文や数文でまとめる活動」などを組み合わせて実践させることで、要約力を鍛えさせたい。それが「書くこと」の課題（情報整理）にもつながると考えられる。同時に、大阪府を上回っていた「思考・判断・表現：記述式」の問題に力を入れることも有効であると思われる。

〔 数 学 〕

〈成果と課題〉

- 本校と大阪府の正答率を比較すると、本校の例年の平均と同等の値となった。特に基礎学力に課題のある生徒が比較的多い。
- 今回の問題では、図を使って説明されている問題の正答率が比較的高くなっていた。授業で具体物やタブレットを活用したことで、考え、答えようとするようになったと考えている。今後も実際に見て、動かして理解しようとする授業を進めていきたい。
- 問4（1次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる問題）は昨年度、ジャンプコース（分割授業）で傾きの数字を変え、調査・分析・まとめをする授業を行ったため、理解度が高かったと考えられる。数学に苦手意識を持たないように、基本問題をほとんどの授業で扱っており、班で教え合いをして慣れさせていた。
- 無解答率では、大阪府・全国より低い問題が4問あった。また、0%の問題が2問あり、その問題では大阪府・全国の正答率に近い値となった。定期テストや授業の演習問題でも、無記入のままにしないように指導してきた。長文問題や記述問題でも、無解答率が低くように演習問題を取り組んでいきたい。

〈指導の重点〉

- 長文問題への苦手意識があり、長文問題の課題を出しても、文章を読み取ることが難しく、手が止まってしまう生徒が複数いる。今後は、1、2年時の学習に繋がりをもたせ、単元が終わった後、学習内容を忘れないよう問題を反復して解く場面をつくり、長文問題を定期的に取り組み、情報の取捨選択をして必要な情報を読み取る力を身に付けていきたい。

各教科の結果から～過去の結果や全国・大阪府平均と比較して～

国語、数学の平均無解答率は、大阪府の平均無解答率より「選択式」の問題では低く、「短答式」、「記述式」の問題においては高い結果となりました。

今年度、「自分の考えをわかりやすく伝えるように表現する力」の育成を河原城中学校の重点として取り組みを進めています。複数の資料から必要な情報を読み取ること・読み取ったことを言葉や図などを使って条件に合わせて書くことに加え、子ども同士が、ICT機器等を活用して、考えを交流したり、発表したりするような授業改善に取り組んでいます。

3. 学習状況調査（勉強・生活等に関する調査）結果の概要

質問調査から～全国・大阪府平均と比較して～

学校全体で、過去の全国学力・学習状況調査、チャレンジテストの分析から、授業改善に取り組み、以下のような結果となっています。

※「肯定的に回答した割合」とは、各質問で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等と回答した生徒の割合の合計を表したものです。

～学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取り組み状況～

〈成果〉

(1) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	河原城	大阪府	全国
	71.4%	67.2%	64.8%
→肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている			
(2) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	河原城	大阪府	全国
	76.2%	76.6%	75.4%
→肯定的に回答した割合が全国平均を上回っている			
(3) 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていましたか。	河原城	大阪府	全国
	81.9%	80.7%	80.9%
→肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている			

〈課題〉

(4) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	河原城	大阪府	全国
	76.2%	80.3%	80.3%
→肯定的に回答した割合が全国・府平均を下回っている			
(5) 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	河原城	大阪府	全国
	87.6%	91.1%	92.3%
→肯定的に回答した割合が全国・府平均を下回っている			

※上記の数値は「肯定的に回答した割合」です。

河原城中学校では、昨年度「自分の考えをわかりやすく伝えるように書く力」の育成を重点に取り組んでいました。(1)(2)の数値は、その成果と考えられます。今後は、(4)(5)のような「課題の解決に向けて、自分から取り組む」や「お互いに協力しながら課題の解決に取り組む」ことができるような授業改善に取り組んでいきます。

～ICT の活用状況～

〈成果〉

(1) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC、タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか （遊びなどの目的に使う時間は除く） →授業以外でICT機器を使った学習に取り組む生徒が多い		河原城	大阪府	全国
	3時間以上	4.8%	3.3%	2.3%
	2～3時間	1.9%	4.2%	3.8%
	1～2時間	13.3%	9.8%	10.5%
	30分～1時間	17.1%	17.7%	19.8%
	30分より少ない	39.0%	33.1%	34.8%
	全くしない	21.0%	31.3%	28.4%

(2) 1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか？ →「ほぼ毎日」と答えた割合が全国・府平均を大きく上回っている		河原城	大阪府	全国
	ほぼ毎日	67.6%	29.3%	31.0%
	週3回以上	24.8%	27.6%	33.4%
	週2回以上	5.7%	26.7%	24.6%
	月1回以上	1.0%	11.7%	7.8%

(3) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。 →肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		91.4%	77.9%	80.2%

(4) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。 →肯定的に回答した割合が府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		93.3%	91.5%	93.9%

(5) 楽しみながら学習をすすめることができる。 →肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		83.8%	81.1%	82.4%

(6) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。 →肯定的に回答した割合が府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		88.6%	87.5%	89.0%

(7) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。 →肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		85.8%	76.7%	77.7%

(8) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。 →肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		94.3%	82.9%	86.2%

(9) 友達と協力しながら学習を進めることができる。 →肯定的に回答した割合が全国・府平均を上回っている		河原城	大阪府	全国
		89.5%	84.5%	85.2%

※(3)～(9)は「1, 2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについての質問」で「肯定的に回答した割合」です。

すべての質問において、（全国・府平均と比較して）高い数値となっています。
引き続き、ICT機器を活用した授業改善に取り組みます。

～家庭学習習慣～

(1) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） →全くしない・30分より少ない割合が高い		河原城	大阪府	全国
	3時間以上	7.6%	12.5%	9.2%
	2～3時間	21.9%	23.4%	22.5%
	1～2時間	26.7%	27.3%	32.6%
	30分～1時間	15.2%	14.3%	18.4%
	30分より少ない	14.3%	11.4%	10.4%
	全くしない	11.4%	10.6%	6.6%

(2) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） →全くしない・1時間より少ない割合が高い		河原城	大阪府	全国
	4時間以上	1.0%	6.4%	5.7%
	3～4時間	7.6%	9.1%	9.8%
	2～3時間	13.3%	16.0%	20.7%
	1～2時間	21.0%	21.6%	26.8%
	1時間より少ない	25.7%	24.9%	23.1%
	全くしない	27.6%	21.2%	13.1%

(3) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。 →「4時間以上」「3時間以上4時間より少ない」と答えた割合が50%を超えている		河原城	大阪府	全国
	4時間以上	39.0%	22.8%	16.6%
	3～4時間	12.4%	13.4%	12.4%
	2～3時間	14.3%	18.4%	19.9%
	1～2時間	15.2%	18.5%	21.4%
	1時間より少ない	10.5%	15.8%	17.7%
	全くしない	5.7%	10.2%	11.2%

(4) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） →「4時間以上」「3時間以上4時間より少ない」と答えた割合が55%を超えている		河原城	大阪府	全国
	4時間以上	40.0%	24.7%	18.2%
	3～4時間	15.2%	15.1%	14.3%
	2～3時間	16.2%	21.8%	23.4%
	1～2時間	16.2%	20.6%	23.3%
	1時間より少ない	5.7%	9.4%	10.7%
	全くしない	1.0%	5.6%	5.8%

(5) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。 →「きちんと守っている」「だいたい守っている」と答えた割合が 全国・府平均を下回っている		河原城	大阪府	全国
		64.8%	72.6%	72.2%

家庭でのスマートフォン（ゲームやSNS、動画視聴など）の使用時間が全国・大阪府と比較しても長い傾向があります。時間を決めて切り替えることが大切です。お子様の、発達段階に応じたルール作りをお願いします。家庭学習においては、まず短い時間の学習を目標に少しずつ学習する時間を増やしてみましょう。

4. 河原城中学校の学習状況と教科正答率との関連

～生徒質問と教科正答率のクロス集計からみた傾向～

(1) 朝食を毎日食べていますか〔「している」・「どちらかといえば、している」の割合〕			
河原城	大阪府	全国	朝食を毎日食べている生徒は全体の 80%程度いる。全国・府平均を下回る。毎日朝食を食べている生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にある。
82.8 %	89.1 %	91.2 %	

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか〔「している」・「どちらかといえば、している」の割合〕			
河原城	大阪府	全国	70%程度の生徒が毎日、同じくらいの時刻に寝ることができている。全国・府平均を大きく下回る。毎日同じくらいの時刻に寝ている生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にある。
69.5 %	80.2 %	80.7 %	

(3) 普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか〔「4 時間以上」・「3 時間以上、4 時間より少ない」の割合〕			
河原城	大阪府	全国	55%程度の生徒が普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり 3 時間以上、SNS や動画視聴をしている。全国・府平均を大きく上回る。1 日の SNS や動画視聴の時間が長い生徒ほど、教科の正答率は低い傾向にある。1 日当たりの使用時間が 1 時間以上、2 時間より少ない生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にある。ルール作りと切り替えを意識して使用することが大切です。
55.2 %	39.8 %	32.5 %	

(4) 自分と違う意見について考えるのは楽しいですか〔「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」の割合〕			
河原城	大阪府	全国	76%程度の生徒が自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている。府平均を上回る。自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にある。
76.2 %	75.5 %	76.2 %	

(5) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。〔「きちんと守っている」「だいたい守っている」の割合〕			
河原城	大阪府	全国	65%程度の生徒が家の人と約束したことを守って使用している。全国・府平均を下回る。家の人との約束したことを守って使用している生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にある。
64.8 %	72.6 %	72.2 %	

(6) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）〔「26～100 冊」・「101 冊～200 冊」・「201 冊～500 冊」・「501 冊以上」の割合〕			
河原城	大阪府	全国	家にある本数は全国・府平均を大きく下回る。家に本が多くあると答えた人ほど、教科の正答率が高い傾向にある。朝読書等の取り組みから、本に触れる機会を増やしていく必要がある。
47.7 %	55.1 %	59.7 %	

上記(1)から(6)の質問以外に、「3. 学習状況調査（勉強・生活等に関する調査）結果の概要～学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取り組み状況～」の(1)～(5)の質問においても、「肯定的回答」をした生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にあります。

引き続き、学校では学力向上への授業改善をすすめていきますので、ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的生活習慣の確立のサポートをお願いします。

5. まとめ ～保護者のみなさまへ～

【学力調査（教科に関する調査）について】

概要にもありますように、今年度の国語、数学の平均無解答率は「選択式」問題では低く、「短答式」、「記述式」問題では高い結果となりましたが、全国平均と比べると高い結果となっています。

今年度は「自分の考えを分かりやすく伝えるよう表現する力」の育成を、本校の重点目標として取り組みを進めているところです。今後も取り組みを進めていくとともに、ふり返りと検証を行い、全教職員で授業改善に取り組んでいきたいと考えます。

【学習状況（勉強・生活等に関する調査）について】

数値からも「家庭学習の少なさ」と「家庭でのスマートフォンの使用時間の長さ」が顕著に表れています。家庭でのスマートフォンに係るルールの徹底と、基本的生活習慣の確立「早寝・早起き・朝ご飯」がキーワードになると考えます。

今年度、『学習の手引き（保護者の皆様へ）』を学習指導部から発出し、二学期初めに学校ホームページにも掲載しています。高校受験のシステムについても少し触れています。『家庭学習の手引き（中学生向け）』については、毎年リニューアルして学校ホームページに掲載しています。

また、タブレットを活用した家庭学習用アプリ「ドリルパーク」の取り組みも進めていますので、各ご家庭におかれましても子どもたちの家庭学習が少しずつでも定着していくよう、お声がけいただきますようお願いいたします。

【学習状況と教科正答率との関連について】

クロス集計から見た傾向からも、生活習慣に係る「朝食を毎日食べること」、「携帯電話における家庭でのルールづくり」、「本に触れるなどの読書習慣」等について、各ご家庭にお願いする部分もあることから、学校でも「学校だより」、「保健だより」、「アツと home（生徒指導通信）」等で発信させていただきます。

今後も学校は、保護者の皆さまと“一緒に”子どもたちの成長を見守っていかれたらと考えます。

以上をもちまして、令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果報告とさせていただきます。
今後とも連携方よろしくお願いいたします。

校長 笹井 貴治